

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社CURIOUS WORLD

【サービス名称】

グローバル探究~It`s a curious world~

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

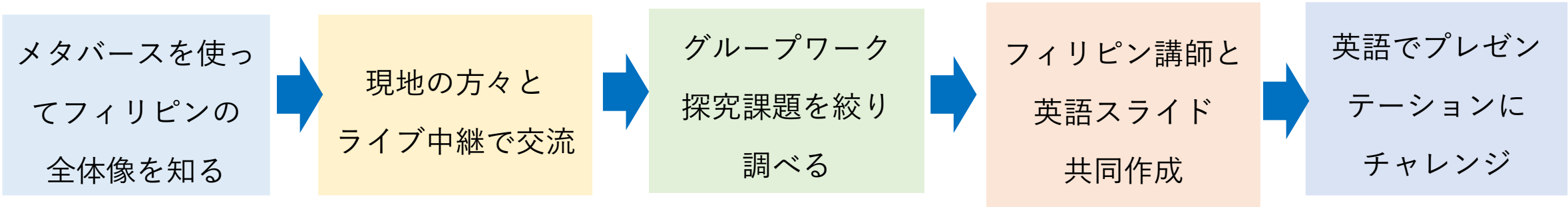
2024年1月



■探究学習等サービスの概要

- ・ 社会の課題を発見し、自らの強みや経験を活かしながら解決策を立案、実行して価値を生み出す。
- ・ 探究学習の考え方を知る。
- ・ グループを構成し、探究する課題に対するICTを用いた解決策の仮説作成を英語で行い発表する。

オンラインで海外現地を繋ぎ、自分が社会の一員としてどのように関わって行くかという問いの道筋を示したPBLプログラムの特色を持ち、課題解決力のあるグローバル人材の育成を目指します。



※このプログラムには国際団体「ATC21s」が提唱する「21世紀型スキル」の「問題解決」「学び方の学習」「コミュニケーション」「コラボレーション」「ICTリテラシー」「個人の責任と社会的責任（異文化理解と異文化適応能力を含む）」と言った要素も含まれています。

概要 (50分×8回のプログラムとなります)

(事前学習：身近なゴミ処理、問題について考える。 自主学習)

- ①メタバースを用いてフィリピンについて理解する。
- ②動画を視聴を通じて探究テーマを探す。
- ③グループで意見を共有し、グループとしての探究テーマを決定する。(学校主導)
- ④インタビューを通じて情報を収集する。
- ⑤情報を整理・分析し、解決策の仮説をまとめる。(学校主導)
- ⑥グループで英語のプレゼンテーション (Googleスライド) を作成 (フィリピン講師と協働作業)
- ⑦グループで英語のプレゼンテーション (Googleスライド) の練習 (フィリピン講師より指導を受ける)
- ⑧プレゼンテーション・質疑応答を行う。

(探究活動を通じて学んだことを振り返り、気づいたことをまとめる。 学校任意)

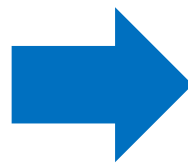
<p>使用教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル探究 It's a curious worldスライド ・フィリピンの現状 NPO設立の想い動画 ・フィリピンゴミ問題動画 ・ワークシート ・ふりかえりシート ・発表用Googleスライド ・評価基準 (ループリック)
--------------------	---

弊社で行った
教育現場でのヒアリング

- ・ 効果的な探究授業が出来ない
- ・ テーマや課題の設定が大変
- ・ 外部との関係や協働が大変
- ・ 生徒が興味を持って取り組まない



探究学習に取り組むことの必要性は感じつつも人材や時間、外部連携と言ったリソースが足りないことが見えてきた。



CURIOUS WORLDに依頼すれば
教育現場では実現できない
インタラクティブなプログラムが実施できる！

● メタバースの活用

メタバースを使ってフィリピンのCebu島について学習
(ゴミ山で生活する人を発見?!)



● バーチャルツアーの活用(インタビュー含む)

セブ現地の現状を知り、自分が感じたことや
疑問に思うこと等を実際に質問。

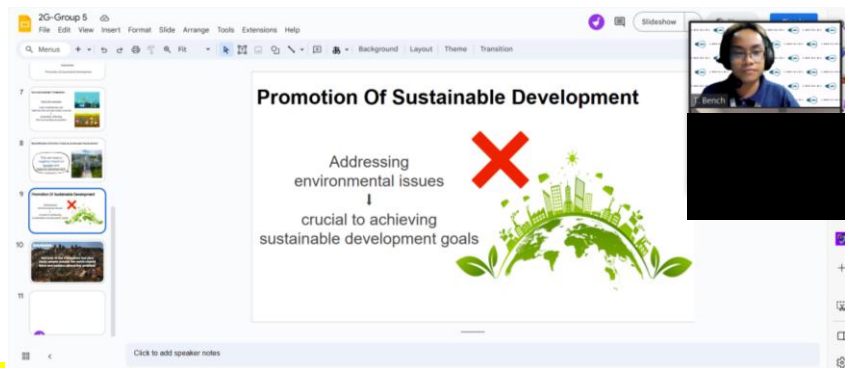


■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

● グーグルスライドと外国人講師を活用したプレゼン資料の作成

フィリピン講師と協働(又はサポートのもと)、英語でプレゼンテーションを作成

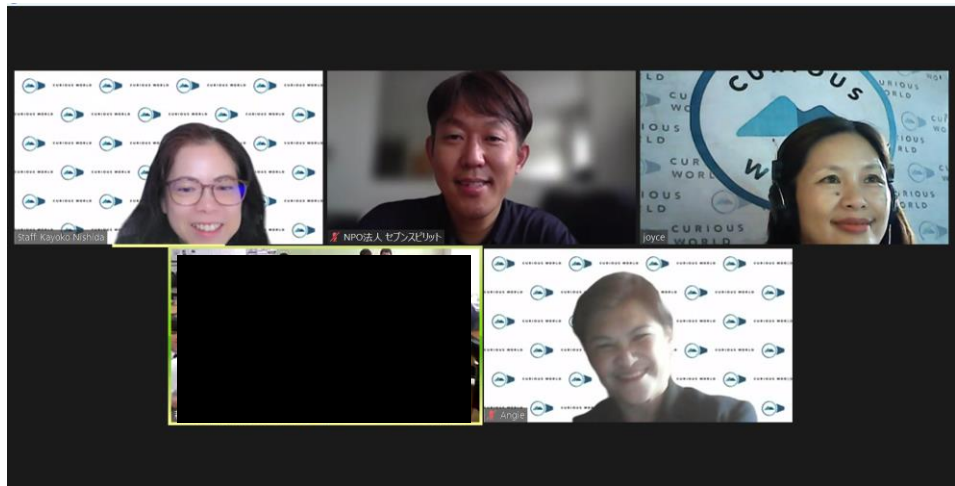
- ・ 英語のプレゼンテーションの構成を理解し、仲間、講師と協働作業で作成。
- ・ ツールの使い方等も英語で習う。
- ・ 英語での発表の仕方を習い、練習する。
- ・ 発音、抑揚、表現の仕方を習い、練習を行う。
- ・ 振り返り コンパスポイントを記入する。



● 英語でプレゼンテーションにチャレンジ(質疑応答含む)

プレゼンテーション・質疑応答を行う。

- ・ 結論をまとめて、明快なプレゼンテーションを行う。
- ・ グループごとに発表、質疑応答。
- ・ 振り返りシート 21世紀型スキルを使ったかチェック。



● 事例①

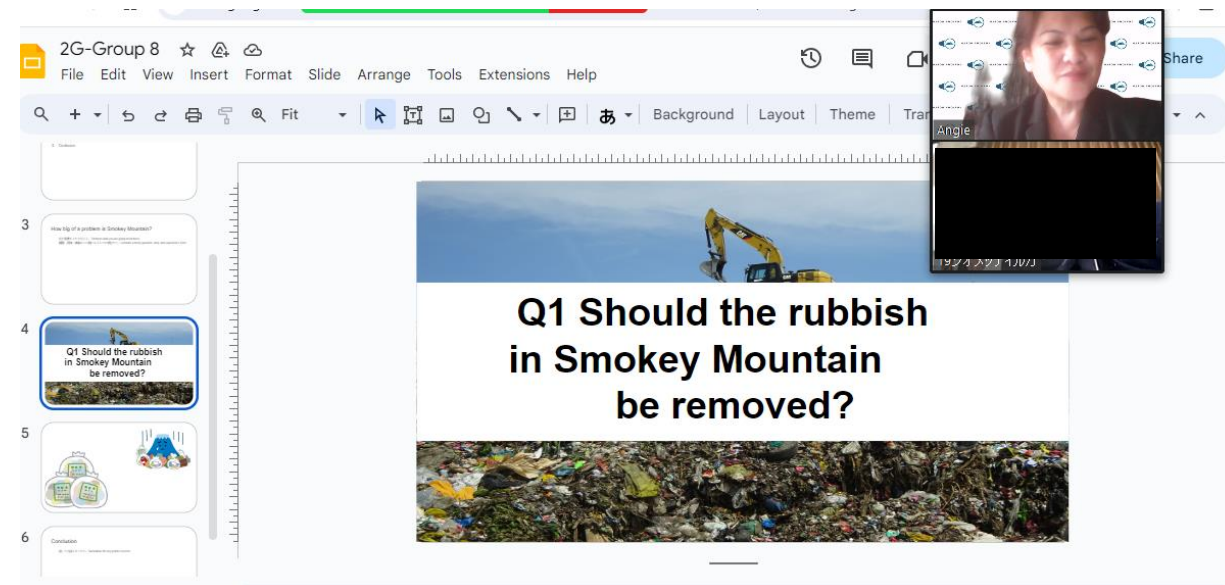
ITCリテラシーの向上と英語でのプレゼンテーションに挑戦したい

● 利用ツール

ZOOM, Mozilla Hubs, Google Slide

【取組】

- ・メタバースという最新の技術を使って、オンラインの2Dとは違った「よりリアルな」体験ができた。
- ・海外現地の外国人と授業で学んだ英語を実際に使って「インタラクティブ」な体験ができた。
- ・英語、オンラインを使って協働作業を実施し、プレゼンテーションを作成することができた。



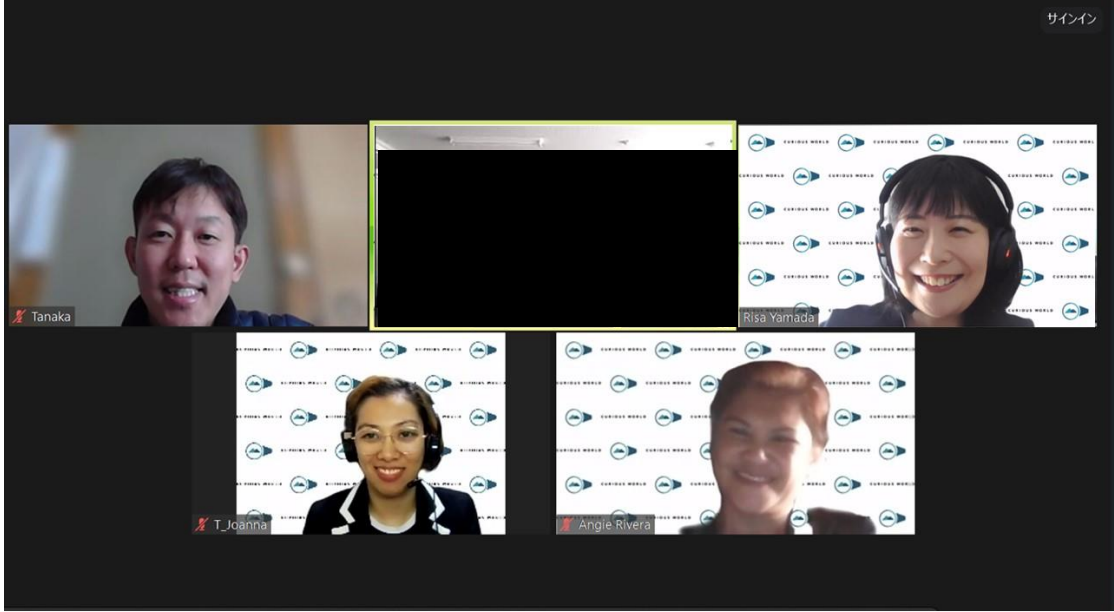
■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

● 事例②

探究活動を通して、課題解決力や協働力を身につけて欲しい

● 利用ツール

ZOOM, Mozilla Hubs, Google Slide



【取組】

- ・ オンラインを通して「生の」英語を体験することができた。
- ・ オンライン上でインターナショナルに協働作業にチャレンジすることができた。
- ・ あまり普段聞きなれないことに対して、「自分ごととして捉える」挑戦ができた。

● 教育機関数：10校

大阪府：近畿大学附属高等学校、賢明学院高等学校、初芝立命館中学校

兵庫県：三田学園高等学校、兵庫教育大学附属中学校

鹿児島県：鹿児島第一高等学校

福岡県：福岡女子商業高等学校

宮崎県：日向学院中学校

神奈川県：相模女子大学高等部

東京都：宝仙学園高等学校

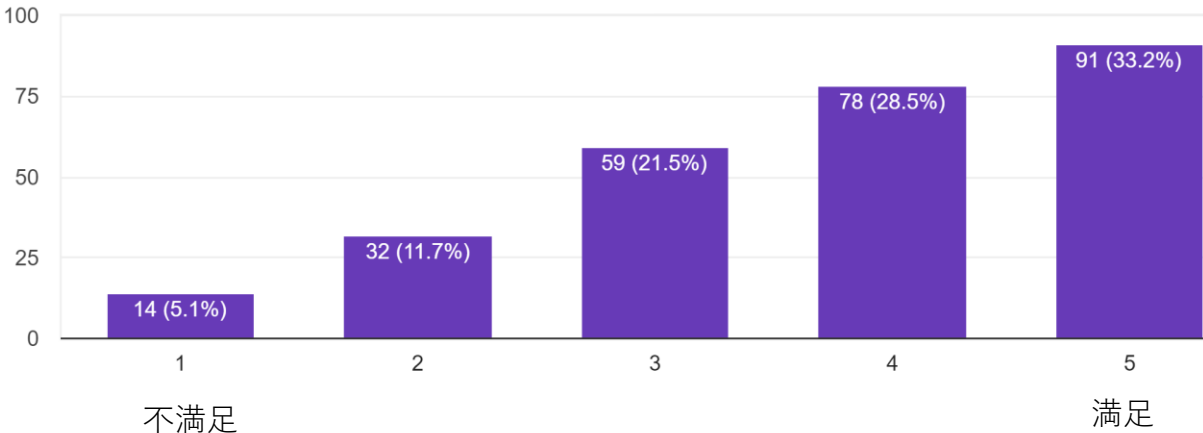
■探究学習等サービス活用による成果

● 対生徒：274名が回答

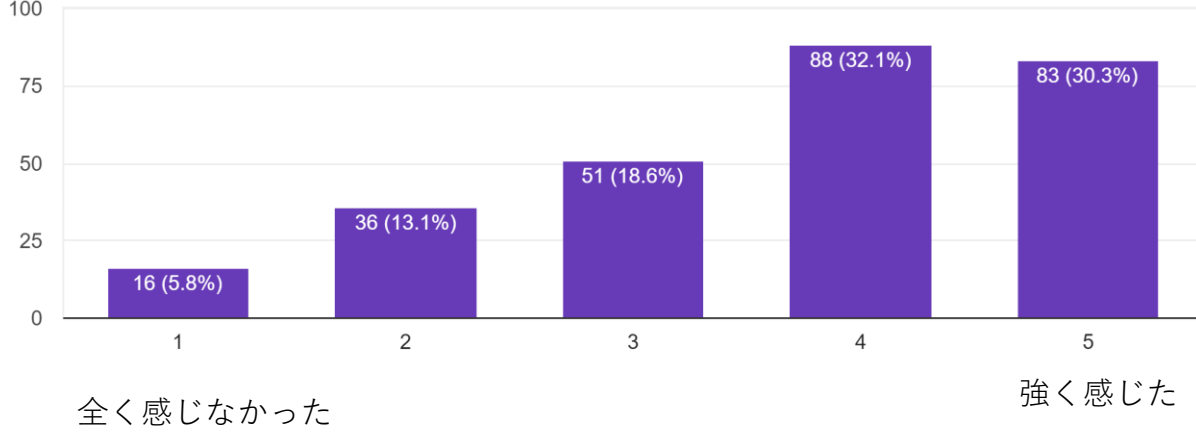
- ・プログラムの満足度として61.7%の生徒が満足していると回答
- ・プログラムを通して60%以上の生徒に変化を感じてもらえた

➡満足度が高く、生徒への学習効果も高い授業サービス提供ができた。

1. グローバル探究プログラム~It's a curious world~の満足度をお教えてください。
274件の回答



2. あなたはこのプログラムを受ける前と受けた後と自分の中で変化を感じましたか？
274件の回答



■探究学習等サービス活用による成果

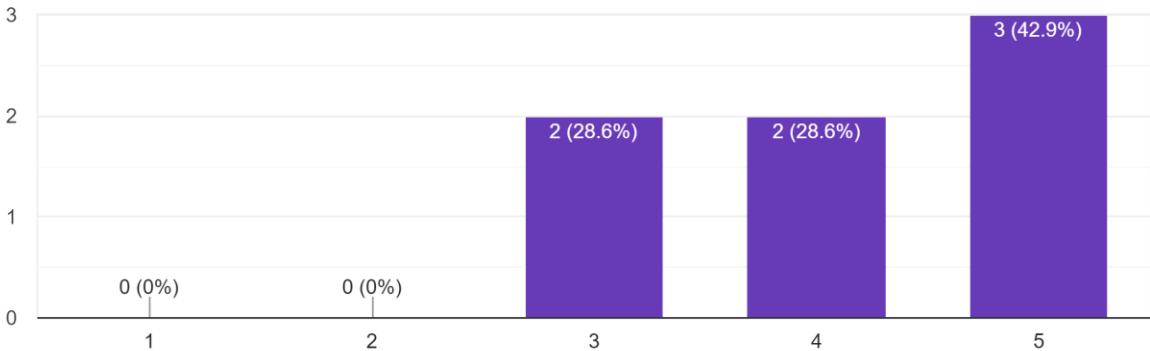
● 対教員：7名が回答

- ・プログラムの満足度として70%以上の先生が満足していると回答
- ・今後の導入の検討についても、70%以上の先生に検討を頂いている。

➡これまでになかった新しい学びの機会の獲得や生徒の変化に満足いただけた。

1. このプログラムは御校の生徒様にとって探究学習教材として効果的でしたか。

7件の回答

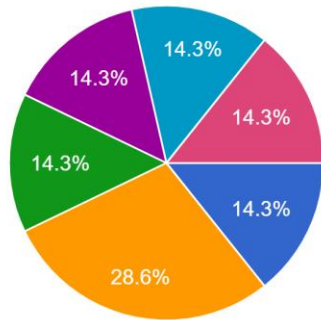


効果的でなかった

効果的だった

2. 今後、同様のプログラムがあれば導入したいと思いますか。

7件の回答



- 無料なら導入したい
- 有料でも導入したい
- 来年度の導入について検討中
- 導入の希望なし
- はい
- コンテンツを精査したい。
- 他のテーマなら4月からでも是非導入したい。

● 課題と改善点

課題	改善点
フィリピンに行ったことがないので自分ごととして捉えることが難しかった	日本のオーバーツーリズム問題、ゴミが散乱している様子等を皆で見れば「ゴミ問題」を「より自然に」導入することができたかもしれない。「急に本題」に入りすぎた。
内容を詰め込みすぎた	ゆっくり探究する時間、またスライドを作る時間を学校主導または自主活動として増やした方が良かった。
グループプレゼンテーション担当のフィリピン人講師の共通認識の徹底	今回に関しては講師が「教える」のではなくて「引き出す」。プロジェクトの趣旨や背景を詳しく伝えるべきだった。「クリエイティビティ」を出すために傾聴を重視させるべきだった。
「振り返り」で、より活動内容を深める時間が欲しかった	最後の総合振り返りを学校主導で設けていたが、もう一回プログラムとして確保できればよかった。生徒が何を学び、何を感じ、どう成長したのか？を弊社スタッフも含め、関係者一同で振り返ることをもう一回入れても良かった。
学校のインターネット環境要因による生徒満足度の低さ	事前打ち合わせにて、通信環境の確認を口頭で行なったが、より明確なテスト接続などを実施すれば良かった。

■サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

●生徒からのコメント例

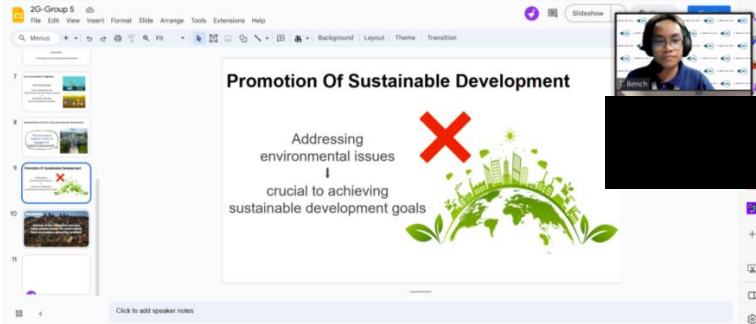
- ・世界にも目を向けることで自分の中での常識が変わり、広い視野で物ごとを見ることができた。
- ・今までこういうのに参加したことがなくて初めて参加してみて英語で話すことで自分の中にあった「面倒くさいという気持ちから楽しい」という気持ちに変わった。
- ・スモーキーマウンテンについて調べる中で、ゴミ山の問題は教育や 政治など様々な問題が絡み合っ
て生まれている複雑さに気づきました。また、イナワヤンだけでなく世界各地にゴミ山ができてしまっている
現状を知り、自分にもできることを考える機会が増えました。
- ・今まで知らなかった問題について新たな知識を得ることができ、それについて多くの議論を重ねたことによっ
てより強い問題意識を持ち、解決策をどうにか見つけたいと思うようになりました。
- ・自分から積極的に考えて、グループ内で発言したり、英語を聞き取ったりする経験ができた。
- ・メンバーとしっかりと対話を重ねながら1つずつ積み重ねた。
また、講師の方と一生に英語を使い会話をし「プレゼン」を作る事ができた。

➡弊社サービスが、**生徒のキャリア観や新たな学びの機会提供**となりました。

■ サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

● 教員からのコメント例

- ・ 海外の人と直接会話ができ、生徒がたいへん意欲的に取り組むことができた。
- ・ 探究課題が明確で、生徒たちが焦点を絞って課題を設定することができた。
 課題設定→情報収集（インタビュー）→整理→まとめ（プレゼン）
 の一連の流れが効率よく組まれたプログラムだったので、生徒たちも取り組みやすかった。
- ・ グループごとに個別の指導やアドバイスなどを丁寧にしていただき助かりました。
- ・ 自分たちの環境と異なるフィリピンの現状を知る機会となった。





■ 会社名

株式会社CURIOUS WORLD (キュリアスワールド)

■ 代表者名と講師数

代表取締役：城戸 渉 講師数：70名

■ 電話番号（お問い合わせ先）

03-6744-6770

■ 事業内容

オンライン英会話・国際交流、現地語学学校、メタバース、グローバル探究

■ 本社所在地

- 名古屋本社
愛知県名古屋市中区大須2丁目10番45号
大須ステーションプラザ6F
- 東京支店
東京都中央区銀座1-22-11
銀座大竹ビジデンス2F
- セブ校
31 JP Rizal St, Mandaue City, 6014 Cebu

■ 取引銀行

三井住友銀行、名古屋銀行、楽天銀行

■ 取引先企業、団体(2023年8月現在)

学校法人(導入実績) : 約60校

■ 加盟団体

名古屋市商工会議所、知多商工会議所
内閣府承認NPO留学協会